

# 交通基盤部道路局

# 事業再評価

# 箇所一覧

2 (再) 一般国道362号  
本川根～静岡バイパス

4 (再) 一般国道469号  
御殿場バイパス

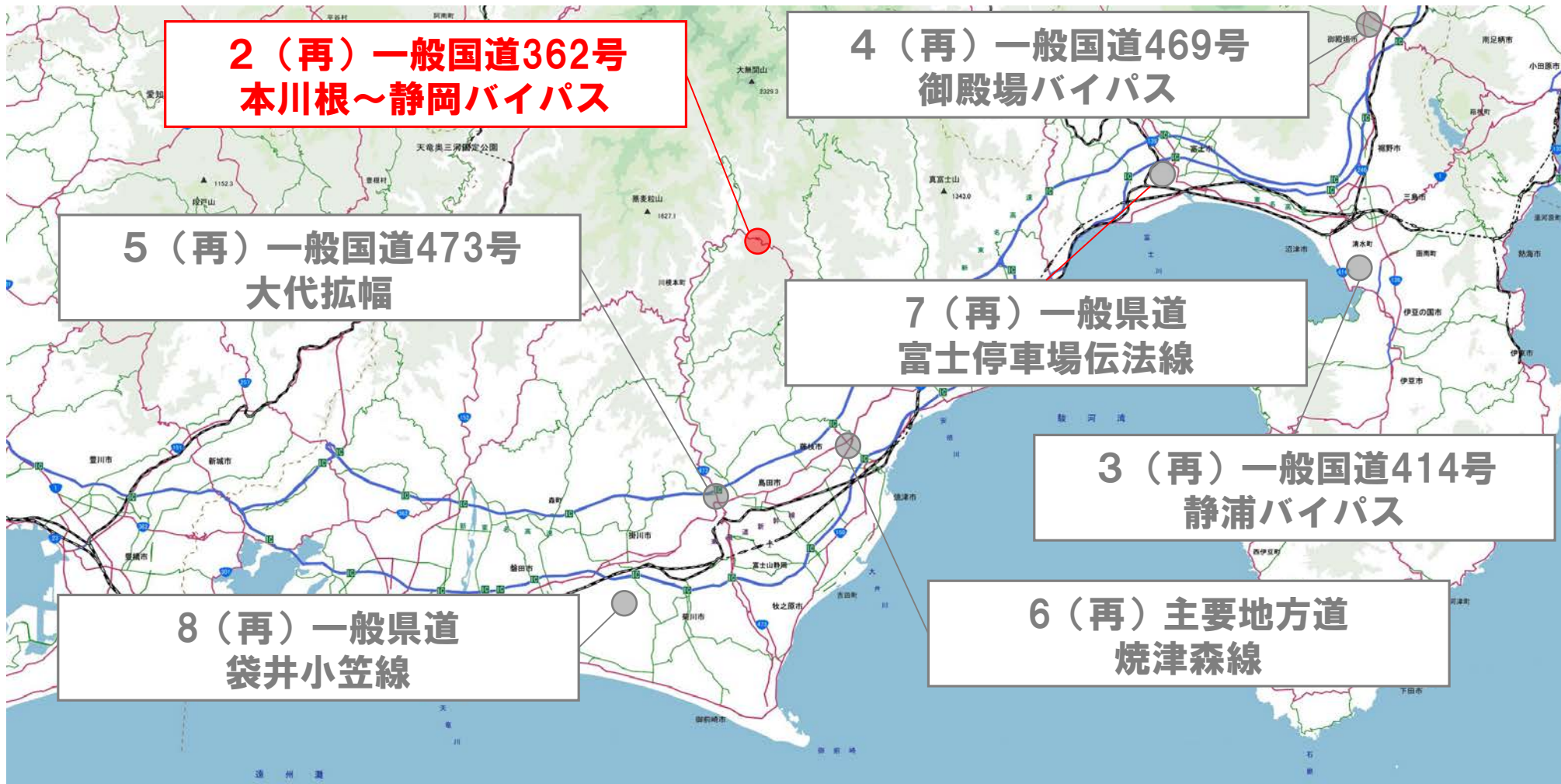
5 (再) 一般国道473号  
大代拡幅

7 (再) 一般県道  
富士停車場伝法線

3 (再) 一般国道414号  
静岡浦バイパス

8 (再) 一般県道  
袋井小笠線

6 (再) 主要地方道  
焼津森線



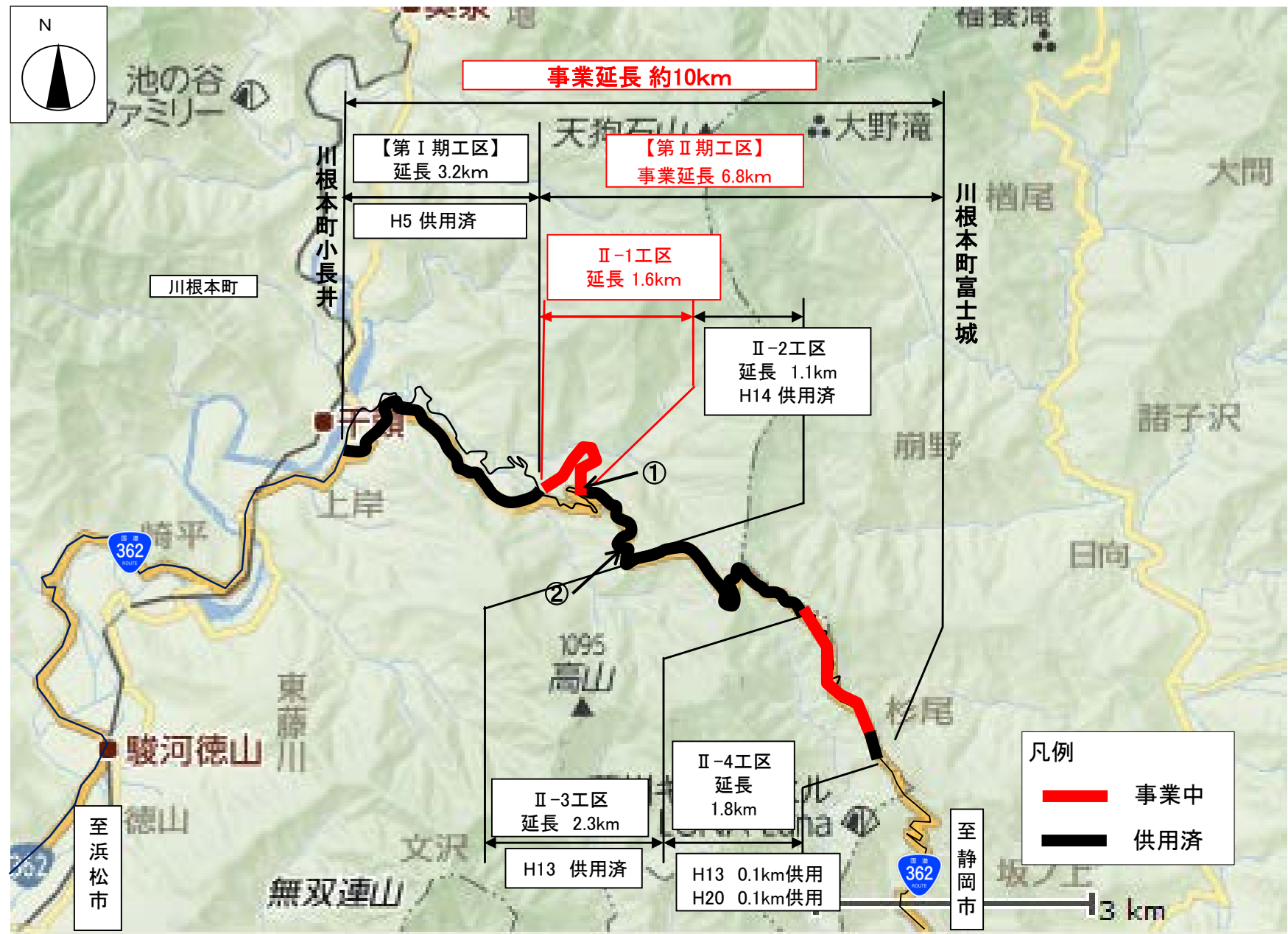
平成30年度 公共事業再評価(道路事業)

一般国道362号 本川根～静岡バイパス

交通基盤部 道路局 道路整備課



# 1. 事業箇所位置図(詳細)



# 2. 事業概要

- 事業期間: 昭和56年度～平成34年度
- 事業費 : 240億円
- 事業延長: 約10km

## 【進捗状況】

- 事業費: 85.8% (平成30年度末)
- 用地面積: 100% (平成30年度末)
- 供用延長: 約7km (平成30年度末)

① <未整備区間>

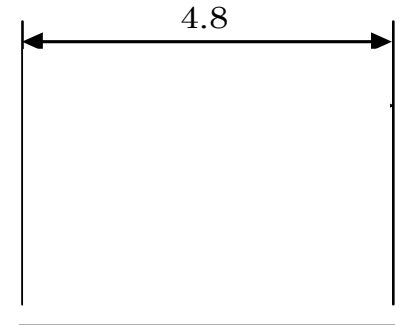


② <整備済み区間>

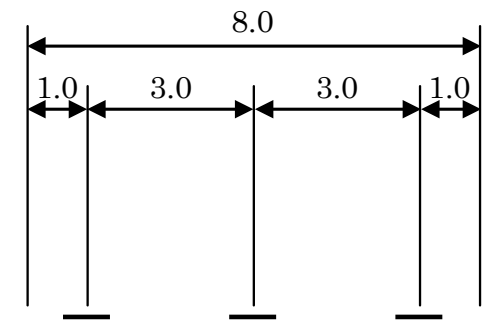


## = 標準横断面図 =

<最小幅員(未整備時)>

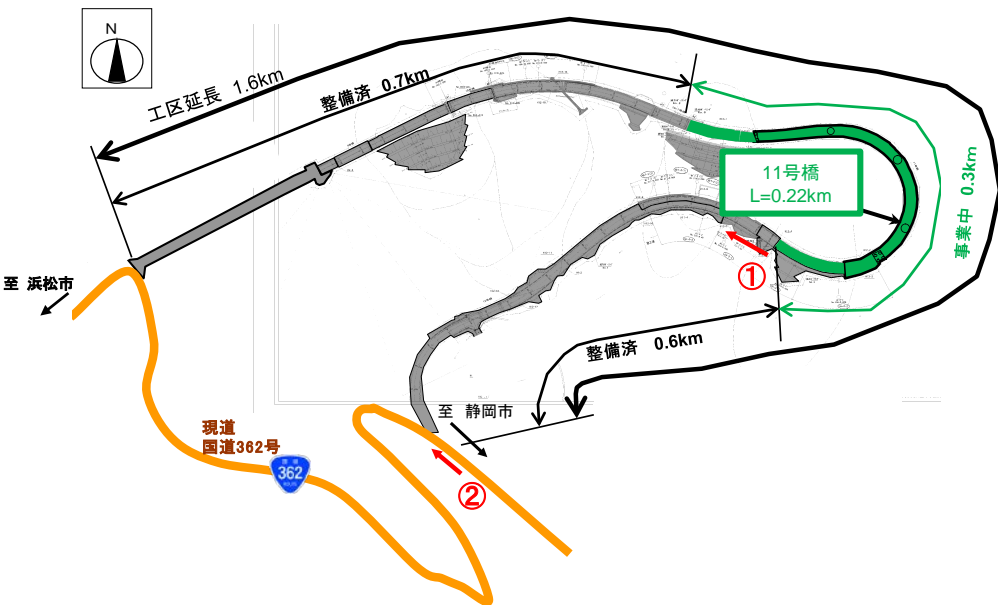


<標準幅員(整備時)>

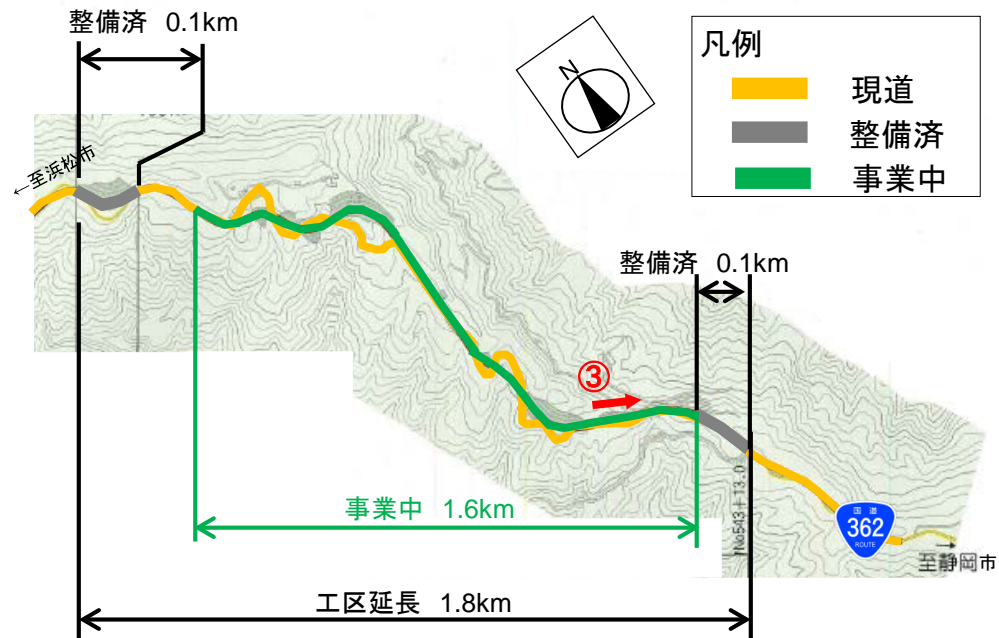


# 2. 事業概要

II-1工区 平面図



II-4工区 平面図



### 3. 事業の投資効果（費用対効果）

費用便益分析マニュアル(国土交通省 道路局 都市局 平成30年2月)

#### 【平成30年度】

<b>総費用 (C)</b>	<b>499.78億円</b>
建設投資額	496.10億円
維持管理費	4.28億円
用地残存価値	0.60億円

<b>総便益(B)</b>	<b>434.40億円</b>
走行時間短縮便益	418.12億円
走行経費減少便益	15.60億円
交通事故減少便益	0.68億円

※検討年数は供用開始後50年。

**費用対効果 (B/C)**  
**=0.86**

#### 【平成25年度】

<b>総費用 (C)</b>	<b>390.84億円</b>
建設投資額	387.50億円
維持管理費	3.83億円
用地残存価値	0.49億円

<b>総便益(B)</b>	<b>355.02億円</b>
走行時間短縮便益	339.39億円
走行経費減少便益	15.21億円
交通事故減少便益	0.42億円

※検討年数は供用開始後50年。

**費用対効果 (B/C)**  
**=0.91**

# 【参考】事業の投資効果（費用対効果）

平成30年度  
算出値  
**B/C=0.86**  
(再掲)

総費用 (C)	499.78億円
建設投資額	496.10億円
維持管理費	4.28億円
用地残存価値	0.60億円

総便益 (B)	434.40億円
走行時間短縮便益	418.12億円
走行経費減少便益	15.60億円
交通事故減少便益	0.68億円

## ①残事業に対する費用対効果

**B/C=2.85**

総費用 (C)	32.31億円
建設投資額	32.20億円
維持管理費	0.11億円

総便益 (B)	92.09億円
走行時間短縮便益	90.02億円
走行経費減少便益	2.20億円
交通事故減少便益	0.00億円※
用地残存価値	-0.13億円

公共事業評価分析に関する技術指針(共通編)(国土交通省 平成21年5月)

※小数点以下の値であり、算出結果に反映されない。

## ②供用済区間の便益を考慮した費用対効果

**B/C=2.23**

総費用 (C)	499.78億円
建設投資額	496.10億円
維持管理費	4.28億円
用地残存価値	0.60億円

総便益 (B)	1119.42億円
走行時間短縮便益	1074.66億円
走行経費減少便益	43.21億円
交通事故減少便益	1.55億円



## 4. 事業の効果について

### ＜命の道＞

#### ① 救急医療への寄与

（救急搬送時間短縮による救命性向上）

#### ② 防災対策及び事前通行規制区間の解消

（防災総点検要対策箇所による安全性向上）

### ＜その他＞

#### ③ 観光産業の支援

（バイパス供用によるアクセス性の向上）

# 4. 事業の効果について

## <命の道>

### ①救急医療への寄与

○3次救急医療を受けるために、静岡市側へ搬送する必要がある。

※3次救急: 重篤な疾患や多発外傷等に対する医療であり、救命救急センターや高度救命救急センター等が対応

= 救急医療施設搬送ルート =

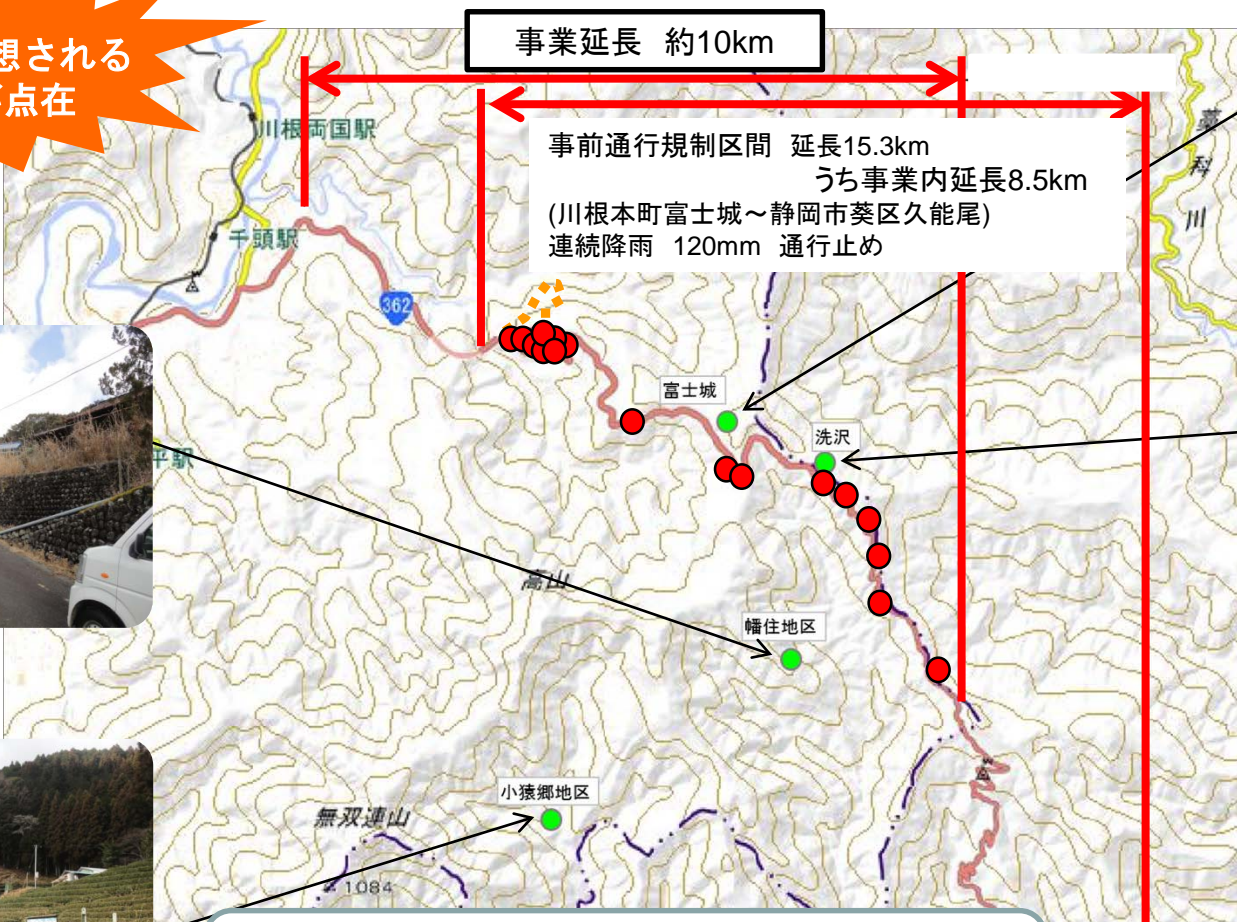


# 4. 事業の効果について

## <命の道>

### ②防災対策及び事前通行規制区間の解消

孤立が予想される  
集落が点在



事業延長 約10km

事前通行規制区間 延長15.3km  
うち事業内延長8.5km  
(川根本町富士城～静岡市葵区久能尾)  
連続降雨 120mm 通行止め

ふじしろ  
富士城地区



あらいざわ  
洗沢地区



はたすみ  
幡住地区



こざるごう  
小猿郷地区



法面对策 未整備箇所



●要対策箇所・・・17箇所(防災総点検)

●集落・・・4箇所

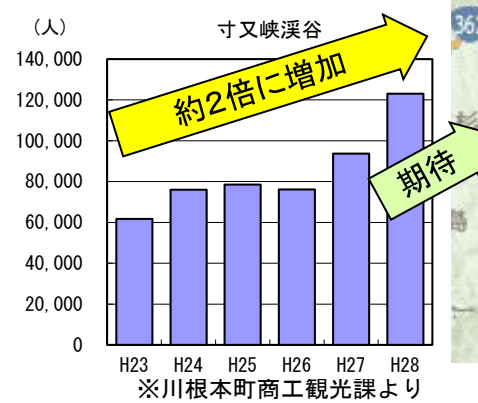
# 4. 事業の効果について

## <その他> ③観光産業の支援

すまたきょうおんせん  
<寸又峡温泉>



<夢の吊橋>



一般国道 362号  
本川根 ~ 静岡BP

<新東名高速道路>  
静岡SASmartIC

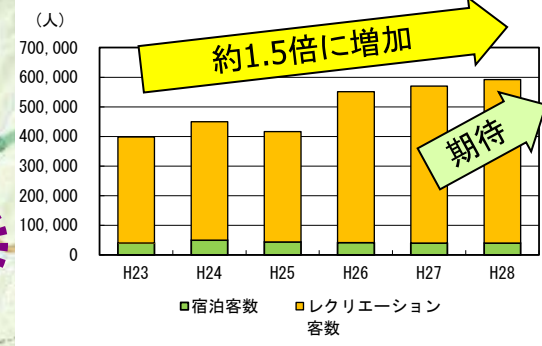
せつそきょうおんせん  
<接岨峡温泉>



ながしま  
<長島ダム>



=観光施設入込数 (川根本町) =



※川根本町商工観光課より

## 5. 対応方針（案）

- 平成30年度に算出した費用対効果(B/C)は「0.86」
- 残事業に対する費用対効果(B/C)は「2.85」  
供用済区間の便益を考慮した費用対効果(B/C)は「2.23」
- 費用対効果(B/C)に現れない事業効果として、
  - ① 救急医療への寄与
  - ② 防災対策及び事前通行規制区間の解消
  - ③ 観光産業の支援

など、事業効果が高い



事業を継続する。